

# 松山大学法学部学術研究会

演題：近世プロイセンの軍隊と社会

講師：鈴木 直志 先生（中央大学文学部・教授）

## 講演概要

軍隊のあり方と社会の関係について、近世プロイセンの事例を手がかりに、考えてみたい。近世軍事史の専門家である鈴木直志先生をお迎えし、軍隊が急激に増強された近世プロイセンにおいて、軍隊のあり方と社会の関係はどのように変化していったのか、その相互関係について考えてみたい。ロシア・ウクライナ戦争やイスラエル・パレスチナ紛争といった、大きな世界史的転換に直面している我々にとり、軍隊と社会の関係について長期的なタイムスパンで歴史を振り返ることは、大きな今日的意義を持つだろう。学生や教職員はもちろんのこと、広く一般市民にも参加を呼びかけたい。

コーディネーター

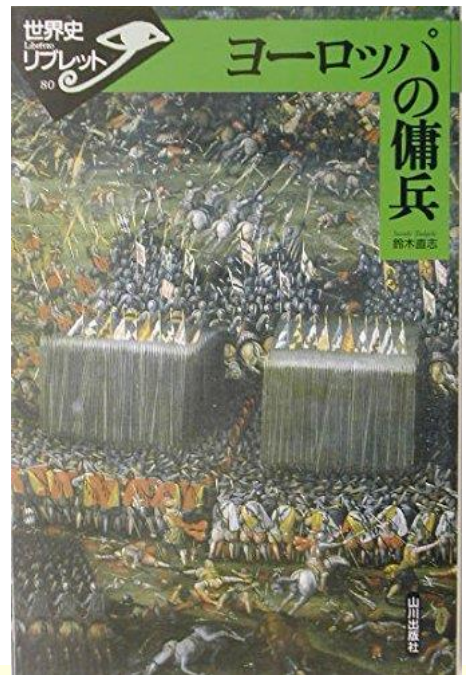
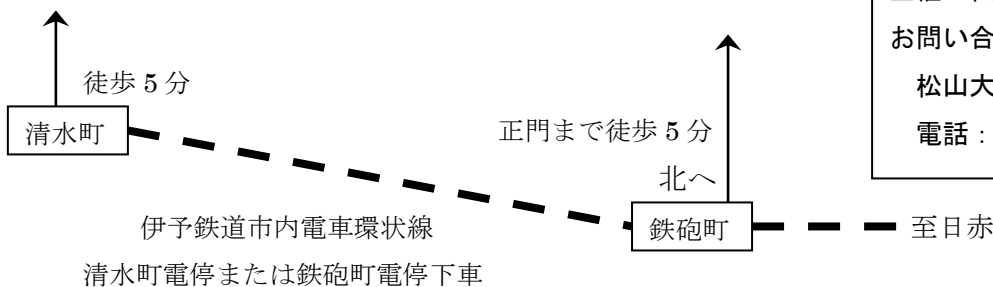
松山大学法学部教授 遠藤 泰弘

日時：2023年 12月 26日(火)

16:00～17:30

入場無料・参加自由

場所：松山大学 東本館 7階会議室 2



講師：鈴木 直志 先生の略歴

1967年生まれ

中央大学文学部史学科卒業、同文学研究科西洋史学専攻博士後期課程満期退学、桐蔭横浜大学法学部専任講師・准教授・教授を経て中央大学文学部教授 著書—『広義の軍事史と近世ドイツ』（彩流社）、『ヨーロッパの傭兵』（山川出版社）他

主催 松山大学法学部

お問い合わせ先

松山大学教務課 法学部担当

電話：089-926-7137（直通）